

■ 細径低摩擦インドア光ケーブル

2008年（平成20年）

集合住宅においても各戸へ光ケーブルを直接配線するには、電話ケーブルが配線されている既設配管の空きスペースに通線する新たな光配線技術が必要になります。

このための細径化と低摩擦化した細径低摩擦インドア光ケーブルを開発しました（図）。

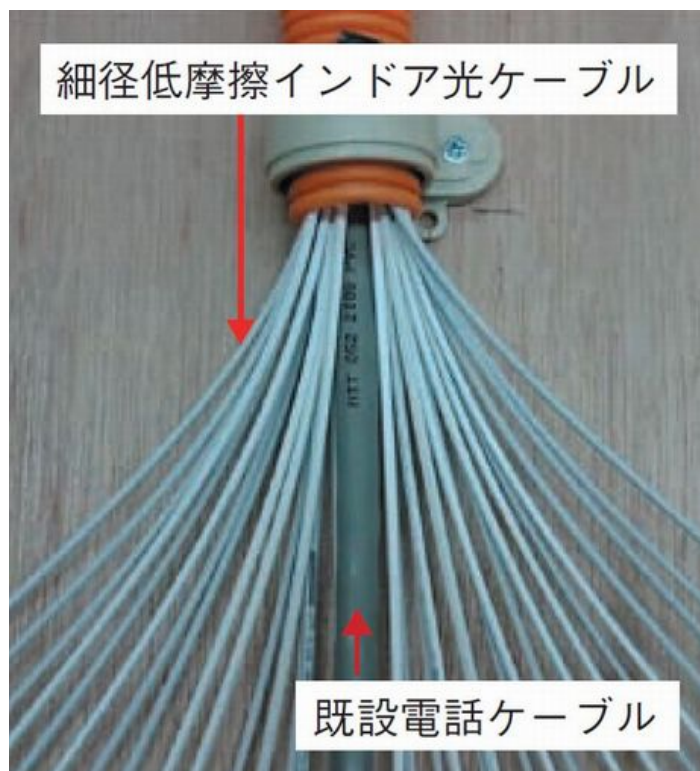


図 開発品の布設状況

光ケーブル細径化で懸念されるケーブル外被の強度・磨耗性に対しては、強度の高いポリオレフィン材の採用と、低摩擦系材料の配合、またケーブル外皮表面に適度な凹凸構造を持たせることにより解決しました。

ケーブル構造は配管内での通線性に優れた平型構造とし、断面積を従来比2分の1程度に細径化しました。これにより、従来比5分の1程度の動摩擦係数となり、通線作業の時間が従来品と比べて短縮できました。また、張替等の保守時にも既設ケーブルに影響を与えることなく撤去が可能となりました。

2008年からNTT東西に導入展開されています。